

# 強化型透析装置用過酢酸洗浄剤

# Cure-XL・II

錆化抑制タイプ

## <特徴>

Cure-XL30の特徴である強化された炭酸カルシウムの溶解力に加え、金属部品に対する錆化抑制効果をもたせた製品です。通常、強力な酸化剤である過酸化剤を含む液体は、金属部品に腐食等の影響を与えますが、本剤はその影響を極力抑制します。

本薬剤で強急に炭酸カルシウムを溶解することにより、アルカリ剤での洗浄における油脂・タンパク類の効果的な除去に貢献します。

## <組成(製造時)>

- 過酢酸 ……………3.4±0.2%
- 過酸化水素……………5.8%以下
- 酢酸 ……………30.0%±2.0%
- 防錆剤

## <品質規格及び特性>

外観	酢酸臭を有する 無色透明液体
pH(23°C)	1.5±0.5
比重(20°C)	1.05 ±0.05g/ml
炭酸カルシウム溶解能 (100倍希釈液)	2.9~3.1g/リットル

## <製品の安全性>

本品に含まれる成分は、水溶解度が高いことによる移動分散性と微生物による生分解性に優れていることから、環境中に残留しません。また、微生物による生分解を受けた後は、最終的に水と二酸化炭素に収束するため、環境に与える負荷は極めて低い性質があります。

- 経口急性毒性
  - ・ 過酢酸……………ラット 1540mg/Kg
  - ・ 過酸化水素…ラット 1518mg/Kg
  - ・ 酢酸……………ラット 3310mg/kg
- COD値(50倍希釈)
  - ・ 580mg/kg
- BOD値(50倍希釈液)
  - ・ 測定できない

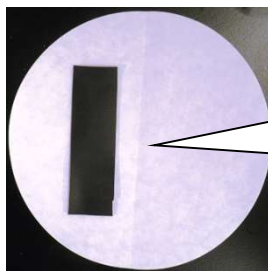
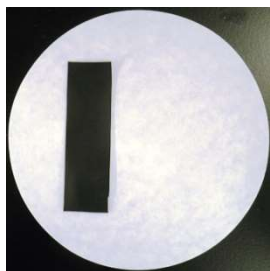
## <使用方法>

対象機器の汚れ具合に応じてご使用時の希釈倍率を調整ください。

シングルパス洗浄の場合は、末端希釈倍率を100~150倍に調整し、30~60分以上の送液を行ってください。封入洗浄の場合は、末端希釈倍率を状況に応じて150~300倍に調整し、4時間以上の溶液接触時間を取ってください。その後、40分以上をかけて十分な水洗を行ってください。

## <黒ゴムに対する部材劣化試験>

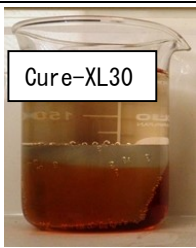
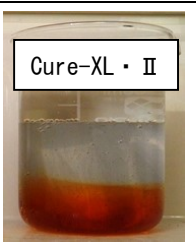
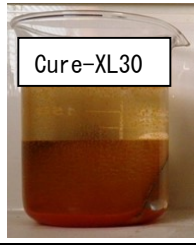
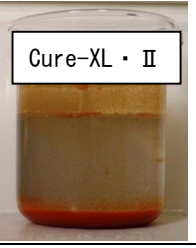
Cure-XL・IIの200倍希釈液に切断した黒ゴムを1ヶ月浸漬し、表面の劣化具合を試験した。黒ゴムをろ紙に押し当てても、黒色やゴム成分の付着が見られないことから、ゴムは侵されにくい事がわかった



ろ紙を二つ折りにしてろ紙にくぼみが出る程度押し当てたが、黒色やゴム成分の付着は見られなかった

## <鉄板を用いた錆化抑制（鈍化）効果>

Cure-XL・IIの200倍希釈液にアセトンで洗浄した標準冷間圧延鋼板（JIS G 3141 SPCC～SB）を浸漬し、錆化の進行過程を観察した。初期段階において、錆化の進行が遅れる傾向が見られた

1 時間後		
4 日後		

### 結果及び考察

- 鋼板を用いた浸漬試験であるため浸漬直後から錆び始めた
- 鉄表面に皮膜を形成されることによりサビの進行を遅らすことができる。4日後においては、鉄表面は犯されることなく金属光沢を有している

## <使用上の注意>

- 使用時には必ずゴム手袋（布、天然皮革製手袋は適さない）保護メガネ、マスクなどの保護具を着用して下さい。目に入った場合は直ちに流水で数分間注意深く洗い流して下さい。その後、医師の診察を受けて下さい。皮膚に付着した場合は、流水で数分間注意深く洗浄して下さい。その後、医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合は直ちに口をすすぎ、無理に吐かずに必要に応じ、大量のミルクまたは水を飲んで下さい。その後、直ちに医師の診察を受けて下さい。
- RO水以外の物質との混合は行わないで下さい。特に塩素系薬剤、アルカリ性物質、ステンレス以外金属類及び還元性物質との混合は危険を伴います。
- 本品は出荷時にガス抜きキャップを装着しています。保存時は横倒しすることなく保管ください。
- コックの装着など密閉状態で保管すると容器が膨張します。使用後はガス抜きキャップに付け替えていただくか、付け替えが難しい場合、時々コックを開いて容器内の空気を開放してください。

## <保管上の注意>

- 直射日光を避け、冷暗所に保管して下さい。

<品質保証期間> ○ 6ヶ月

## <荷姿>

- 9kg × 2/箱 1ケース

【販売代理店】

【製造元】

株式会社 エーエヌ・テック

〒521-1114 滋賀県彦根市彦富町 931-5

TEL:0749-43-8017 FAX:0749-43-3021